

# 津市サンヒルズ安濃交流館屋上防水改修工事

図面リスト		
建築工事		
図面番号	図面名称	縮尺
A-1	図面目録	
A-2	特記仕様書(1)	
A-3	特記仕様書(2)	
A-4	特記仕様書(3)	
A-5	特記仕様書(4)	
A-6	付近見取図・配置図・仕上表	1/1500
A-7	仮設計画図	1/200・1/1500
A-8	1階～R2階 平面図(改修前)	1/200
A-9	3階・R1階 平面図(改修後)	1/100
A-10	断面図・立面図	1/100
A-11	展開図・各部詳細図(1)	1/30・1/50
A-12	各部詳細図(2)	1/30

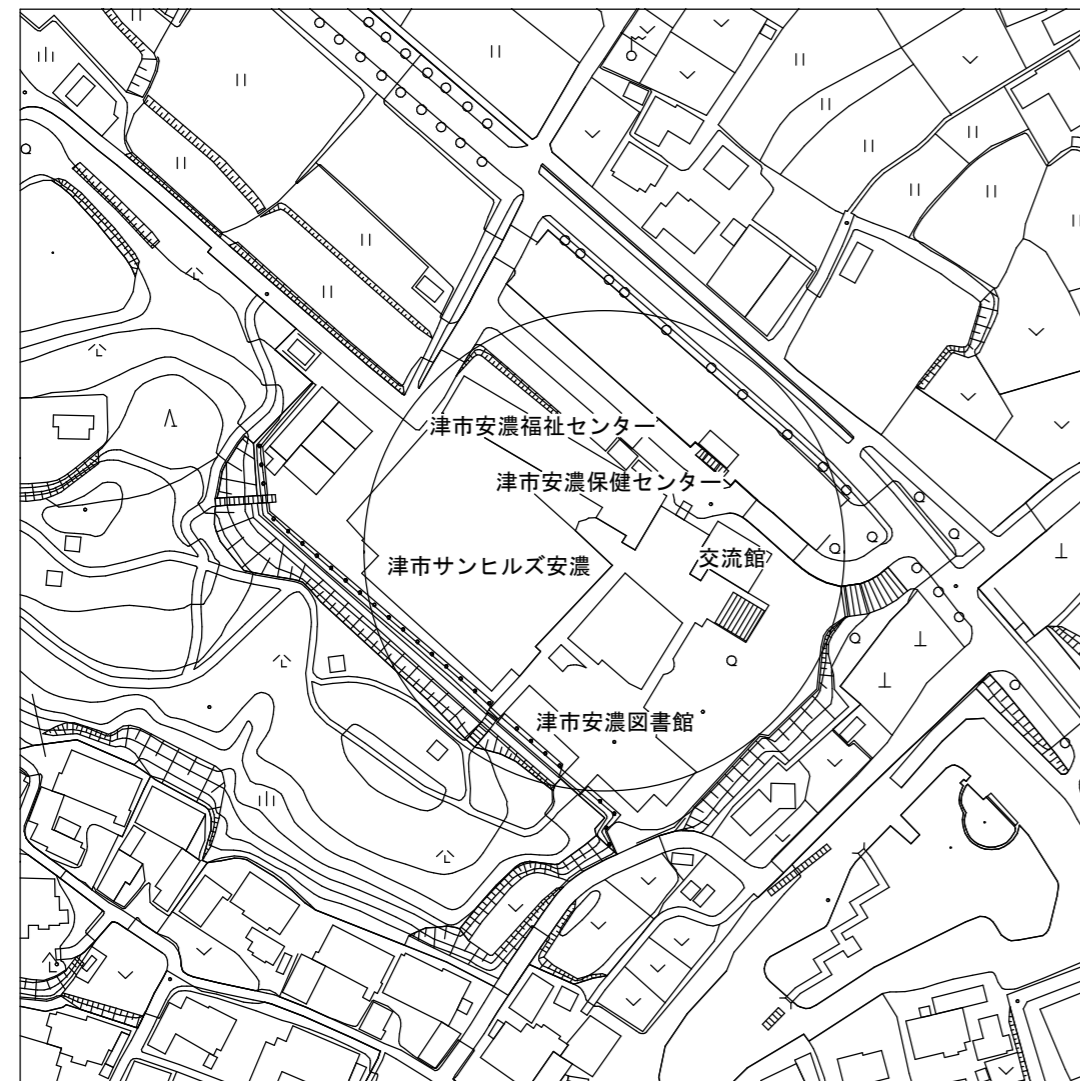
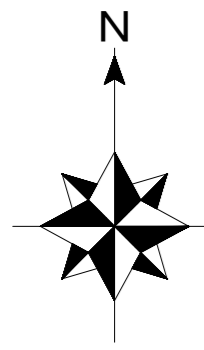
工事特記仕様書（改修）		章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																			
<b>I. 工事名称</b> 津市サンヒルズ安濃交流館屋上防水改修工事 <b>II. 工事概要</b> 1 工事場所 津市 安濃町東観音寺 地内 2 敷地面積 3 工事内容 屋上防水改修 棟名称 交流館 構造 鉄筋コンクリート造 3階建 延べ面積 764 m <sup>2</sup> <b>III. 建築改修工事仕様</b> 1 共通仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」(以下「改修仕」という。)による。 2 特記仕様 (1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印が付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 特記事項に記載される内容が複数ある事項については○印の付いたものを適用し、※印の付いたものは適用しない。 使用材料等で複数の材料に○印が付いたものは図面による。 (3)項目欄に記載の( )内表示番号は改修仕の該当項目等を示す。		<b>③</b> 発生材の処理等 (1.3.8) ○ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする 分別解体等の方法 <table border="1"> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体の方法</th> </tr> <tr> <td>造成等</td> <td>・有 ・無</td> <td>・手作業 ・手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>・有 ・無</td> <td>・手作業 ・手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>上部構造部分・外装</td> <td>○有 ・無</td> <td>○手作業 ○手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>○有 ・無</td> <td>○手作業 ○手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>建設設備・内装等</td> <td>○有 ・無</td> <td>○手作業 ○手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他( )</td> <td>○有 ・無</td> <td>○手作業 ○手作業と機械作業の併用</td> </tr> </table>	工程	作業の有無	分別解体の方法	造成等	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用	上部構造部分・外装	○有 ・無	○手作業 ○手作業と機械作業の併用	屋根	○有 ・無	○手作業 ○手作業と機械作業の併用	建設設備・内装等	○有 ・無	○手作業 ○手作業と機械作業の併用	その他( )	○有 ・無	○手作業 ○手作業と機械作業の併用	<b>⑫</b> 工事写真 ※ 工事写真の撮り方／建築、及び同／建築設備に従い撮影する。 提出部数 1部 用紙は上質紙とする。 <b>⑬</b> 完成図 (1.8.2) ※ 作成する(※ 完成図 ・ 保全に関する資料) ※ 完成図作図範囲 (設計図を修正) 完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。 <b>⑭</b> 完成写真 ※ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。 写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なして撮影すること。 ・ アルバム1部 (大きさ335mm×290mm程度、カラー) <b>⑮</b> 設備工事との取合い 施工範囲 ※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ※ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ※ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ※ 設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。 工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共在来にならない補修する。 <b>⑰</b> 事故報告 工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。	<b>⑨</b> 工事用電力 <b>⑩</b> 交通誘導員 <b>③</b> (1. 一般事項) <b>①</b> 適用範囲 (1.1) <b>②</b> 施工一般 1 アスファルト防水 (3.1.4) (3.3.3) (表3.3.3～表3.3.10) (3.3.2)(h) (3.3.3)(b)(2) (3.3.3)(d) 2 改質アスファルトシート防水 (3.4.3) 表(3.4.1～表3.4.3) (3.4.3)(2)(3) 3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.3) 表(3.5.1) (3.5.2)(b) (3.5.3) <b>④</b> 塗膜防水 (3.6.3) 表(3.6.1) (3.6.3)(a) (3.6.3)(b) 5 既存防水層表面の仕上げ (3.2.6)(c)(2) (3.2.6)(c)(6)	横内既存の施設 ○ 利用できる(※ 有償 ○ 無償) ※ 利用できない ※ 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電したときから工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。 配置 ※ 図示 防水工事の保証書の提出及び保証年限 ・ 保証年限10年：777防水 ・ 合成高分子M-フック防水 ○ 保証年限10年：塗膜防水 ・ その他； <保証書(請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証)は各2通提出する。防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける> 降雨等による養生方法： ※ 標準仕様書3.1.3(e)による ・ 図示 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ P1B</td> <td>・ B-1 ※ B-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P1E</td> <td>・ E-1 ※ E-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2E</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 断熱層工法の断熱材(P1B1、P2A1及びT1B1工法) 材質 ※ 押出法ポリスチレンフォーム3種b(スキン層付) 厚さ ・ 脱気装置(M3D、POD、POD1、M3D1、M4D1) ・ 設ける(設置数量 ※ 図示、材質 ) ・ 設けない 保護層 ・ 設ける ・ 設けない <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ M4AS</td> <td>・ AS-1 ・ AS-2 ・ AS-3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 脱気装置 ・ 設ける(設置数量 ※ 図示、材質 ) ・ 設けない <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ S3S</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ S3S1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ M4S</td> <td>・ S-M2 ・ S-F2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 絶縁用シート ※ 発泡ポリエチレンシート 脱気装置：製造所の指定による ・ 設ける(設置数量 ※ 図示、材質 ) ・ 設けない <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ P0X</td> <td>○ X-1 ○ X-2</td> <td>2階屋上、R1階</td> </tr> <tr> <td>・ L4X</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 脱気装置 ○ 設ける(設置数量 ※ 図示、材質 ) ・ 設けない <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ P1Y</td> <td>・ Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2Y</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 保護層 ※ 図示 ・ 自閉樹脂塗膜防水 ・ ・ ・ 施工箇所：便所床、ピット内外 ○ 超速硬化UV複合防水 ・ ・ ・ 施工箇所：テラス 株式会社『フレックス UPM-10C工法(押入工法)同等品 ○ 特化物無配合1成分形UV塗膜防水 ・ ・ ・ 施工箇所：テラス (M4AS、M4AS1、M4C、M4D1) ・ 行う ・ 行わない (L4X) ・ 行う ・ 行わない	工法	種別	施工箇所	・ P1B	・ B-1 ※ B-2		・ P1E	・ E-1 ※ E-2		・ P2E			工法	種別	施工箇所	・ M4AS	・ AS-1 ・ AS-2 ・ AS-3		工法	種別	施工箇所	・ S3S			・ S3S1			・ M4S	・ S-M2 ・ S-F2		工法	種別	施工箇所	○ P0X	○ X-1 ○ X-2	2階屋上、R1階	・ L4X			工法	種別	施工箇所	・ P1Y	・ Y-2		・ P2Y		
工程	作業の有無	分別解体の方法																																																																								
造成等	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用																																																																								
基礎・基礎ぐい	・有 ・無	・手作業 ・手作業と機械作業の併用																																																																								
上部構造部分・外装	○有 ・無	○手作業 ○手作業と機械作業の併用																																																																								
屋根	○有 ・無	○手作業 ○手作業と機械作業の併用																																																																								
建設設備・内装等	○有 ・無	○手作業 ○手作業と機械作業の併用																																																																								
その他( )	○有 ・無	○手作業 ○手作業と機械作業の併用																																																																								
工法	種別	施工箇所																																																																								
・ P1B	・ B-1 ※ B-2																																																																									
・ P1E	・ E-1 ※ E-2																																																																									
・ P2E																																																																										
工法	種別	施工箇所																																																																								
・ M4AS	・ AS-1 ・ AS-2 ・ AS-3																																																																									
工法	種別	施工箇所																																																																								
・ S3S																																																																										
・ S3S1																																																																										
・ M4S	・ S-M2 ・ S-F2																																																																									
工法	種別	施工箇所																																																																								
○ P0X	○ X-1 ○ X-2	2階屋上、R1階																																																																								
・ L4X																																																																										
工法	種別	施工箇所																																																																								
・ P1Y	・ Y-2																																																																									
・ P2Y																																																																										
特記			月 日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 設計 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号 年月日 縮尺	津市サンヒルズ安濃交流館屋上防水改修工事 特記仕様書(1)	NO. A-2 原因:A2																																																																			



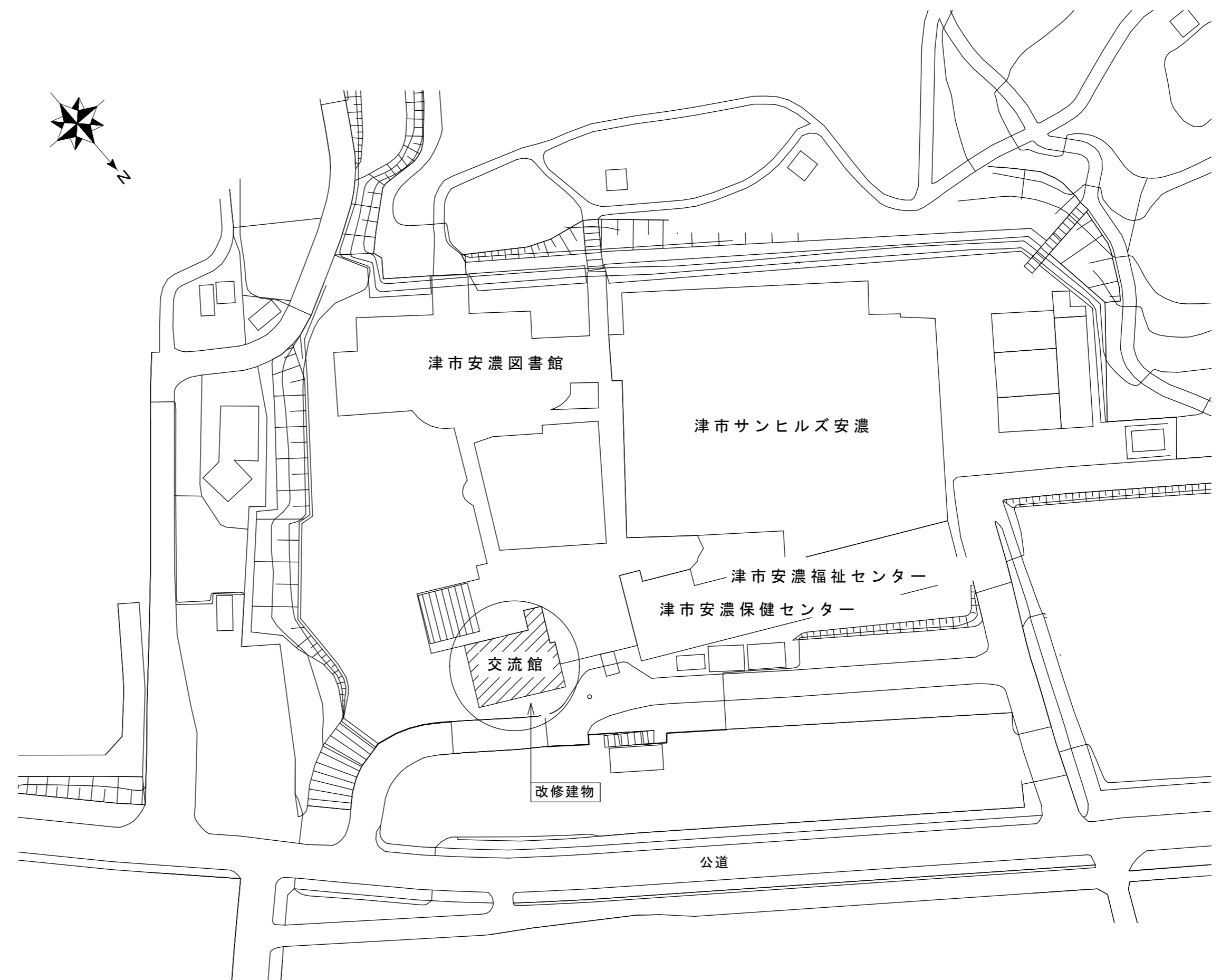
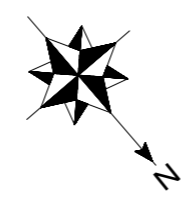


章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
7	1 材料 (7.1.3)(b)	※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)	B	(一般事項)	工事内容	8	1 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)	材料(表8.2.1)による 種別 径(mm) ・SD295A ※D16以下 ・SD345 ※D19~D25 ・SD390 ※D29以上 ・	8	(あと施工アンカー)	種類
2	2 下地調整 (7.2.2~7.2.7) (表7.2.1~7.2.7)	種別 下地 種別 ・木部 ・鉄鋼面 ・亜鉛めっき鋼面 ・モルタル、プラスター面 ・コンクリート、ALCパネル面 ・コンクリート、押出成形セメント板面 ・せっこうボード、その他 ボード面	1	1 適用範囲 (8.1.1)	・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・鉄骨ブレースの設置工事 ・柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・柱補強工事(連続繊維補強工法) ・耐震スリット新設工事 ・免震改修・制震改修工事	2	2 溶接金網 (8.2.2)	網目の形状寸法及び鉄線の径 網目の形状寸法 鉄線の径(mm) 6φ×150×150 図示	5	1 あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類
3	3 錆止め 塗料塗り (7.3.2) (表7.3.1) (7.3.3) (表7.3.3~7.3.4)	塗料種別 ・鉄鋼面 屋外 A種 屋内 A種 B種 ・亜鉛めっき鋼面 ※ A種 B種 C種	2	2 施工計画調査 (1.2.2) (1.2.4) (1.3.1) (1.5.1)	工事種別 ・施工調査(施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修) ・撤去工事(設備機器配管及び仕上げの取り壊し、撤去(下地の一部又は全てをきむ)、構造体のはつり) ・鉄筋工事 ・あと施工アンカー工事 ・コンクリート工事 ・鉄骨工事 ・グラウト工事 ・連続繊維補強工事 ・スリット新設工事 ・免震改修・制震改修工事	3	3 鉄筋の継手 (8.3.4)	径 部位 重ね継手 ※D16以下 ガス圧接 ※D19以上	2	あと施工アンカー工事	穿孔
4	4 合成樹脂 鋼合ペイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1~7.4.3)	塗料種別 ※1種 種別 下地 種別 ・木部 ・鉄鋼面 ・亜鉛めっき鋼面 ・ A種 B種 C種 ・ A種 B種 C種 ・ A種 B種 C種	3	3 施工数量調査 (1.5.2)	施工計画調査 項目 内容 記録事項等	4	4 各部配筋	※ 図示	3	あと施工アンカーの施工確認試験 ・実施する 確認試験方法 ※(8.11.5)による 確認強度	埋込み配管等の探査の範囲及び方法 範囲 ※図示 方法 ・鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・はつり出しによる。
5	5 クリヤラ ッカー塗り(OL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 A種 ※B種	(既存部分の撤去等)	1 既存仕上げ等の撤去 (8.19.2) (8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	撤去範囲 ※図示	5	5 ガス圧接 (8.3.8)	圧接完了後の試験 超音波探傷試験 ・行う ・行わない	(場所打ちコンクリート壁の増設工事)	場所打ちコンクリート壁の増設部に用いる既存部とのシアコネクタ種類 ※金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径(mm) ※D10 長さ(mm) ※増設壁厚-40 彫込み深さ(mm) ※5d(d:シアコネクタの径)以上 間隔(mm) ※500×500	
6	6 フタル酸 樹脂エナメル塗り(FE) (7.6.2~7.6.3) (表7.6.1~7.6.2)	種別 下地 適用 ・木部 (表7.6.1参照) ・鉄面及び亜鉛めっき鋼面 (表7.6.1参照)	1 既存仕上げ等の撤去 (8.19.2) (8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存仕上げ等の撤去 撤去範囲 ※ 図示 ・新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分 ・既存コンクリート撤去範囲に面する部分	撤去範囲 ※図示	8	8 の4 軀体改修工事	(現場打ち鉄筋コンクリートの増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事) 6 割製補強筋 (8.19.6) (8.20.7)	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	シアコネクタとセパレーターの兼用 ※兼用してもよい・兼用しない	
7	7 アクリル 樹脂系非水 分散形塗料(NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 A種 ※B種	2 既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置 (8.19.2) (8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置 本工事の範囲 ・本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分 ※ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。	撤去範囲 ※図示	8	8 の4 軀体改修工事	割製補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数、ピッチ 適用箇所 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 ※SR235 ※6φ 120 < 径(mm) ※図示 ※スリット用棒鋼 ※SR295A ※D10 壁内方向 筋 < 壁面外方向 筋 <	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	シアコネクタとセパレーターの兼用 ※兼用してもよい・兼用しない	
8	8 耐光性塗料塗り(DP) (7.8.2) (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)	上塗り等級 ・1級(フッ素系) ・2級(シリコン系) ・3級(シリコン系)	2 既存構造体の撤去 (8.19.2) (8.20.2) (8.21.2) (8.22.2)	既存構造体の撤去 撤去範囲 ※図示 はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置	撤去範囲 ※図示	8	8 の4 軀体改修工事	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	シアコネクタとセパレーターの兼用 ※兼用してもよい・兼用しない	
9	9 つや有合成樹脂 エマルジョンペイント塗り(EP-G) (7.9.2~5) (表7.9.1~4)	種別 下地 種別 コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面 木部(屋内) 鉄鋼面(屋内) 亜鉛めっき鋼面(屋内)	3 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.19.3) (8.20.3) (8.21.3)	既存構造体コンクリートの表面目荒らし 目荒らし範囲 ※ 既存コンクリートとの打継ぎ面全面 ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面 ※ 図示 目荒らし程度 ※ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ※ 図示	目荒らし範囲 ※図示	8	8 の4 軀体改修工事	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	シアコネクタとセパレーターの兼用 ※兼用してもよい・兼用しない	
10	10 合成樹脂 エマルジョンペイント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 A種 ※B種 C種	(既存部分の処理)	3 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.19.3) (8.20.3) (8.21.3)	既存構造体コンクリートの表面目荒らし 目荒らし範囲 ※ 既存コンクリートとの打継ぎ面全面 ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面 ※ 図示 目荒らし程度 ※ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ※ 図示	8	8 の4 軀体改修工事	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	シアコネクタとセパレーターの兼用 ※兼用してもよい・兼用しない	
11	11 合成樹脂 エマルジョン模様塗料塗り(EP-T) (7.11.2) (表7.11.1~3)	種別 A種 ※B種 C種	(既存部分の撤去等)	3 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.19.3) (8.20.3) (8.21.3)	既存構造体コンクリートの表面目荒らし 目荒らし範囲 ※ 既存コンクリートとの打継ぎ面全面 ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面 ※ 図示 目荒らし程度 ※ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ※ 図示	8	8 の4 軀体改修工事	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	シアコネクタとセパレーターの兼用 ※兼用してもよい・兼用しない	
12	12 ウレタン 樹脂ワニス塗り(UC) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 A種 ※B種	(既存部分の撤去等)	3 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.19.3) (8.20.3) (8.21.3)	既存構造体コンクリートの表面目荒らし 目荒らし範囲 ※ 既存コンクリートとの打継ぎ面全面 ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面 ※ 図示 目荒らし程度 ※ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ※ 図示	8	8 の4 軀体改修工事	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	シアコネクタとセパレーターの兼用 ※兼用してもよい・兼用しない	
13	13 オイルシフト塗り(OS) (7.13.2)	(表7.13.1参照)	(既存部分の撤去等)	3 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.19.3) (8.20.3) (8.21.3)	既存構造体コンクリートの表面目荒らし 目荒らし範囲 ※ 既存コンクリートとの打継ぎ面全面 ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面 ※ 図示 目荒らし程度 ※ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ※ 図示	8	8 の4 軀体改修工事	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	シアコネクタとセパレーターの兼用 ※兼用してもよい・兼用しない	
14	14 木材保護塗料塗り(WP) (7.14.2) (表7.14.1)	種別 A種 ※B種	(既存部分の撤去等)	3 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.19.3) (8.20.3) (8.21.3)	既存構造体コンクリートの表面目荒らし 目荒らし範囲 ※ 既存コンクリートとの打継ぎ面全面 ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面 ※ 図示 目荒らし程度 ※ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ※ 図示	8	8 の4 軀体改修工事	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	シアコネクタとセパレーターの兼用 ※兼用してもよい・兼用しない	
15	15 マスチック塗料塗り (7.15.2) (表7.15.1)	種別 A種 ※B種	(既存部分の撤去等)	3 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.19.3) (8.20.3) (8.21.3)	既存構造体コンクリートの表面目荒らし 目荒らし範囲 ※ 既存コンクリートとの打継ぎ面全面 ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面 ※ 図示 目荒らし程度 ※ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す ※ 図示	8	8 の4 軀体改修工事	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	3 シアコネクタ (8.2.4) (8.3.4)	シアコネクタとセパレーターの兼用 ※兼用してもよい・兼用しない	





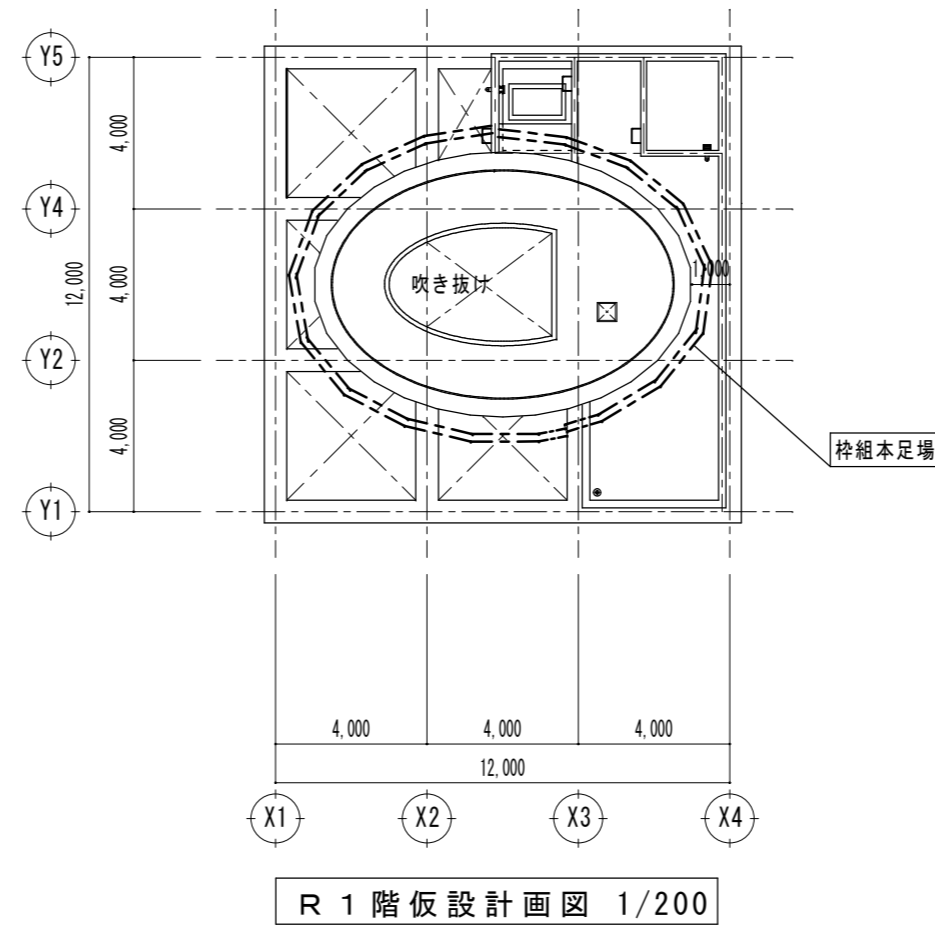
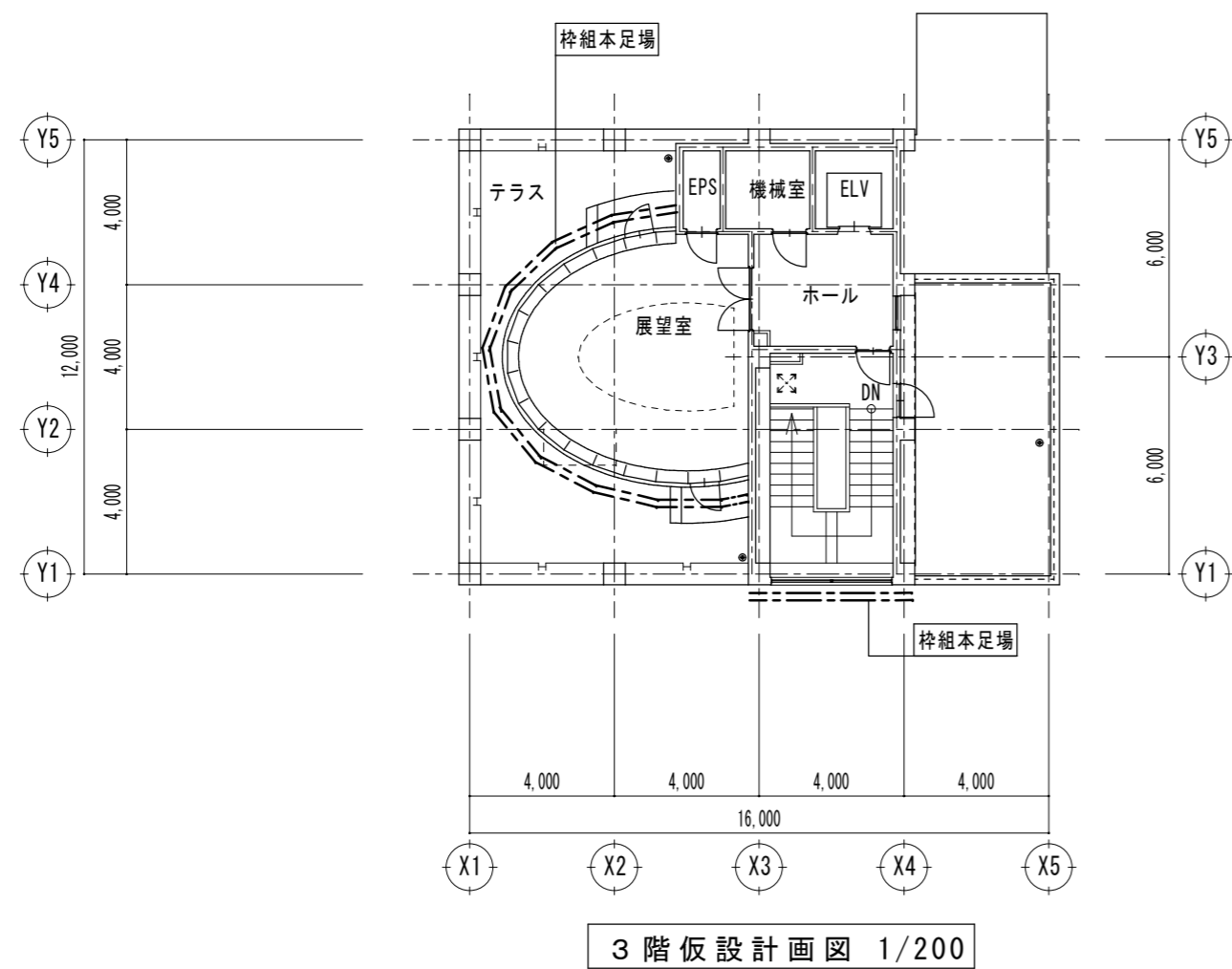
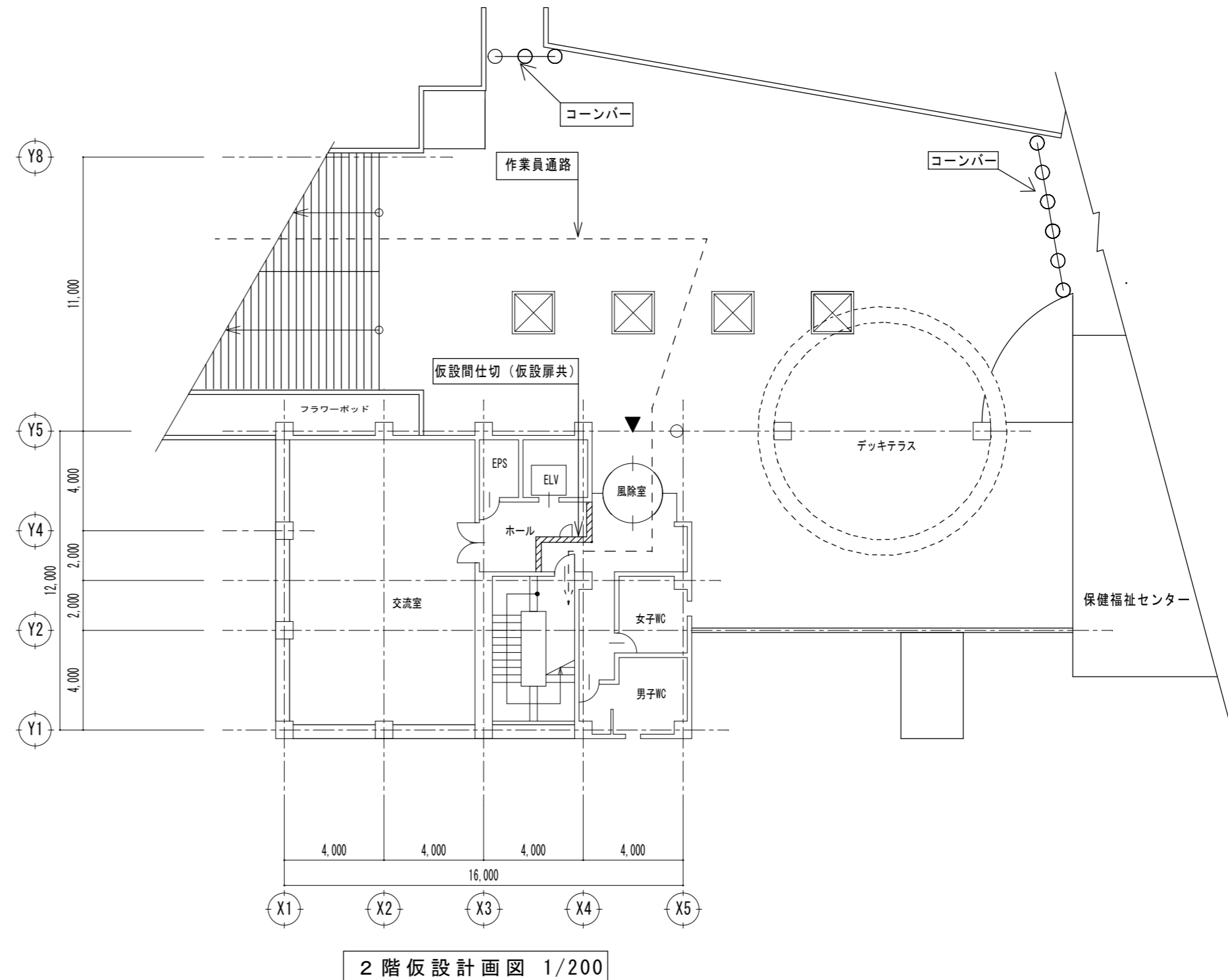
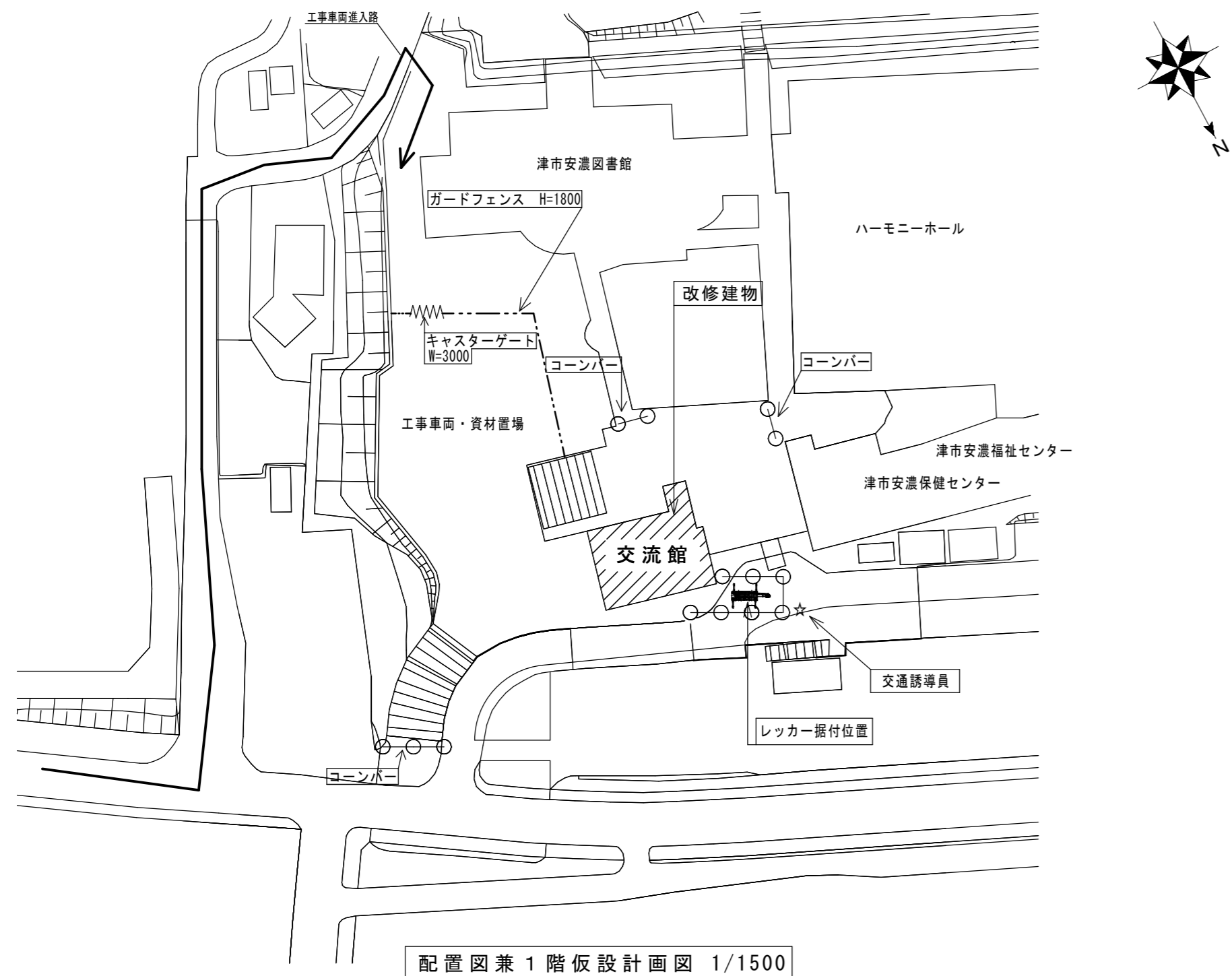
付近見取図



配置図 1/1500

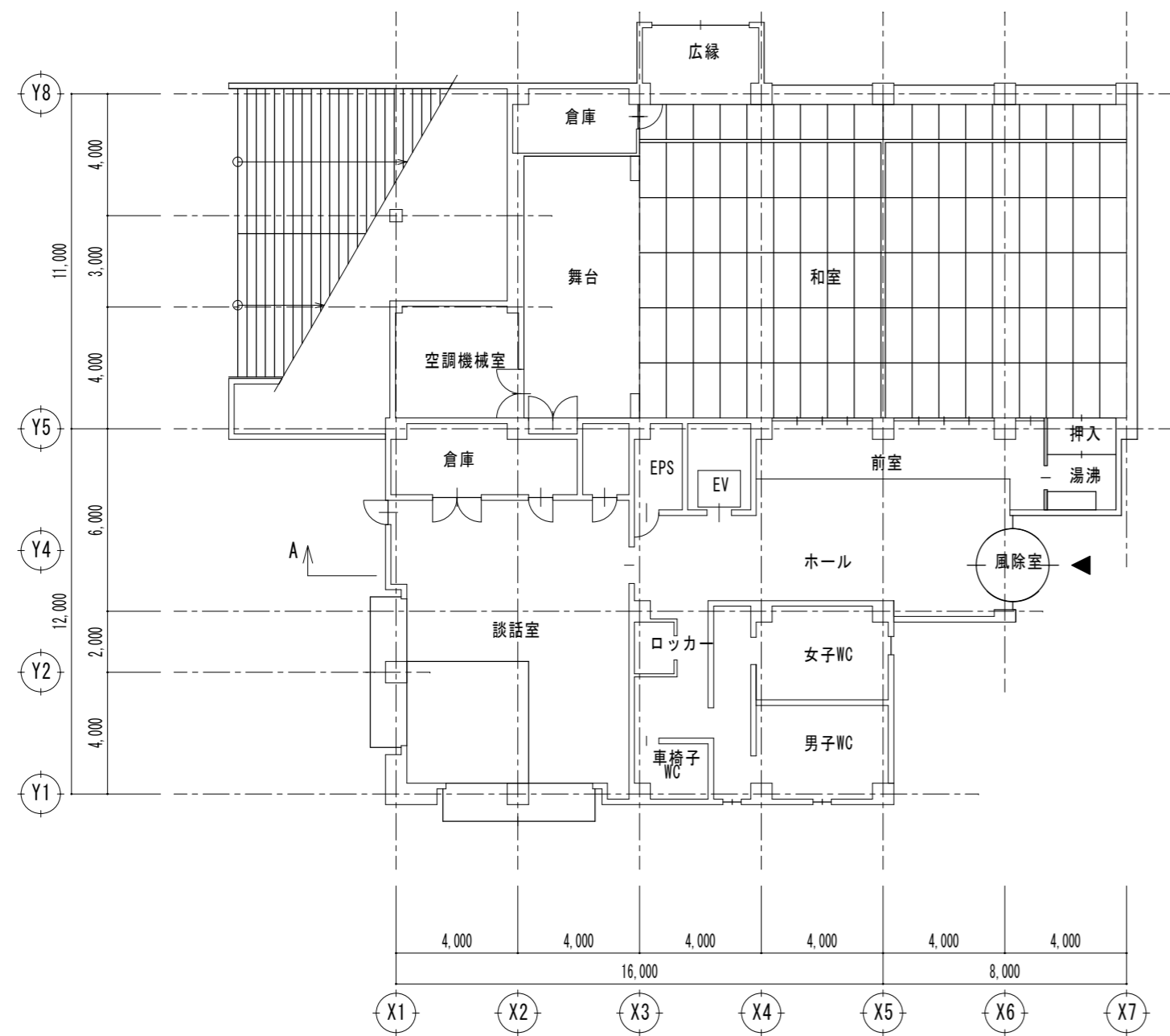
仕上表

外部仕上								
	屋根	屋上	テラス	外壁	建具	備考		
改修前	ステンレス立はげ葺き (既存のまま)	改質アスファルト防水 平場：防水層撤去 ストレーナー撤去 ケレン清掃 立上り：防水層撤去 ケレン清掃	改質アスファルト防水の上磁気質200角タイル張り 平場・立上がり：200角タイル撤去（防水層共） ストレーナー撤去 ケレン清掃	金属パネル（W=900） （既存のまま）	展望室出入口（外部建具）			
改修後		2、3階屋根 平部：下地勾配調整の上ウレタン塗膜複合防水絶縁工法（X-1工法）ウレタン=3mm 脱気筒1ヶ所・改修用ドレーン新設 立上り部：Eポキシ系プライマセメント塗布+ウレタン塗膜防水密着工法（X-2工法）ウレタン=2mm+メッシュ 室外機置場 平部：Eポキシ系プライマセメント塗布+ウレタン塗膜防水密着工法（X-2工法）ウレタン=3mm 立上り部：Eポキシ系プライマセメント塗布+ウレタン塗膜防水密着工法（X-2工法）ウレタン=2mm	平部：下地勾配調整の上超速硬化ウレタン複合防水+モルタル下地の200角タイル新設 ウレタン=3mm 改修用ドレーン新設 立上り部：Eポキシ系プライマセメント塗布+特化物無配合1成分形ウレタン防水 ウレタン=2mm+メッシュ 出入口階段部：下地調整の上モルタル金こて仕上げ+超速硬化ウレタン複合防水+モルタル下地の200角タイル新設（立上がり共）	パネル目地：シーリング再充填工法（MS-2）	塗装改修・庇シーリング再充填工法 扉：SOP塗			
内部仕上								
	室名	床	巾木	腰壁	壁	天井	備考	
改修前	展望室	タイルカーペット500角 (撤去)	木製巾木（H=60） (既存のまま)	PB t=9.5+12.5 t=12.5GL下地EP塗 (既存のまま)		ロックウール化粧吸音板 (既存のまま)		
改修後	展望室	タイルカーペット500角 (新設)	塩ビ巾木（H=60） (新設)				3階階段踊り場アルミサッシ 漏水部シーリング再充填工法（MS-2） ※外壁取り合い部	
特記			月 日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之		設計番号 年月日 縮尺 1/1500	津市サンヒルズ安濃交流館屋上防水改修工事 付近見取図・配置図・仕上表	NO. A-6 原図：A2

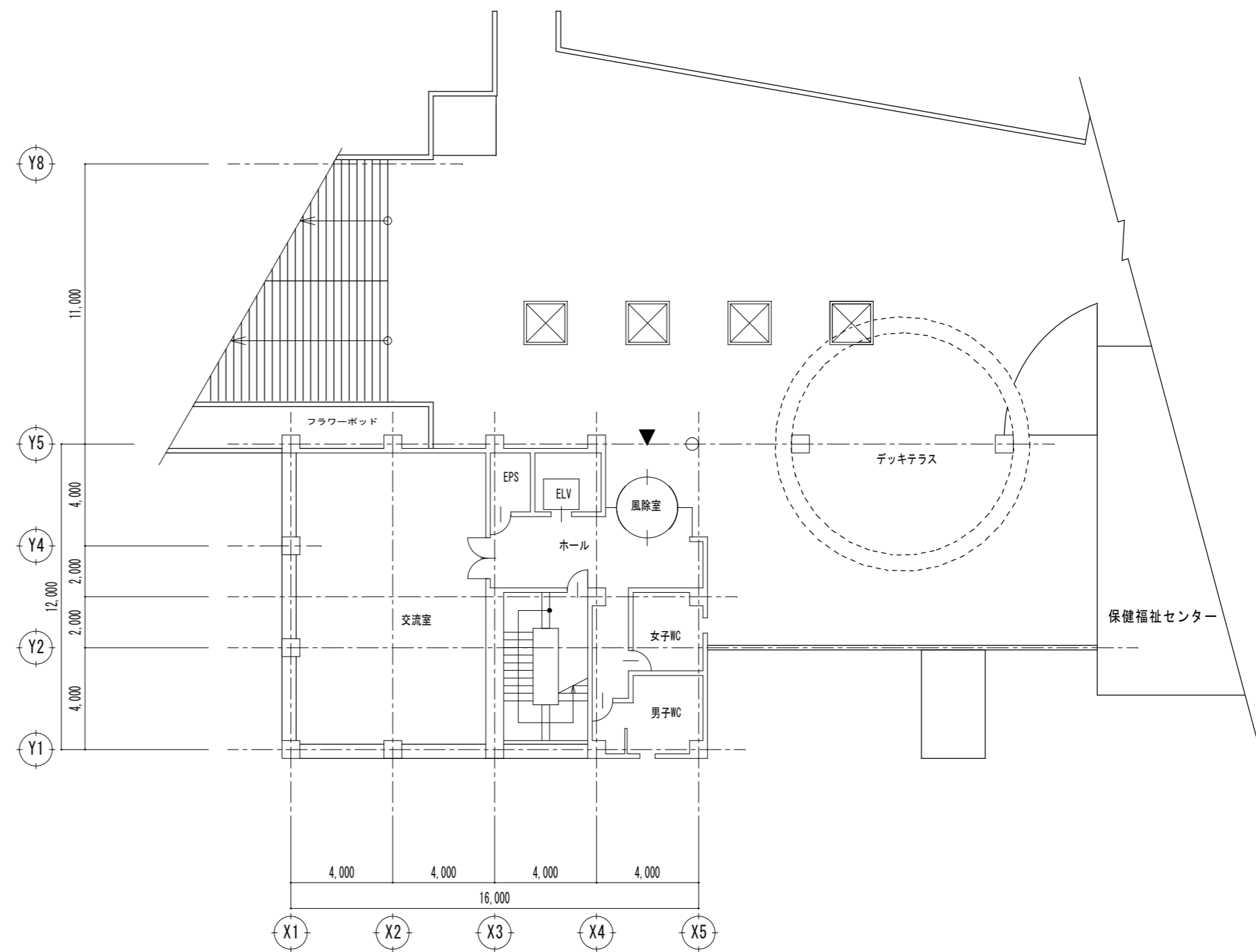


- 凡例
- 工事車両搬入経路を示す
  - - - 作業員進入経路を示す
  - 仮囲い：ガードフェンス H=1,800
  - ○ ○ 仮囲い：コーンパー
  - ==== 桝組本足場 W=600
  - ☆ 交通誘導員 重機搬出入時
  - //// 仮設間仕切り (仮設扉共)
  - ~~~~~ キャスターゲート W=3,000

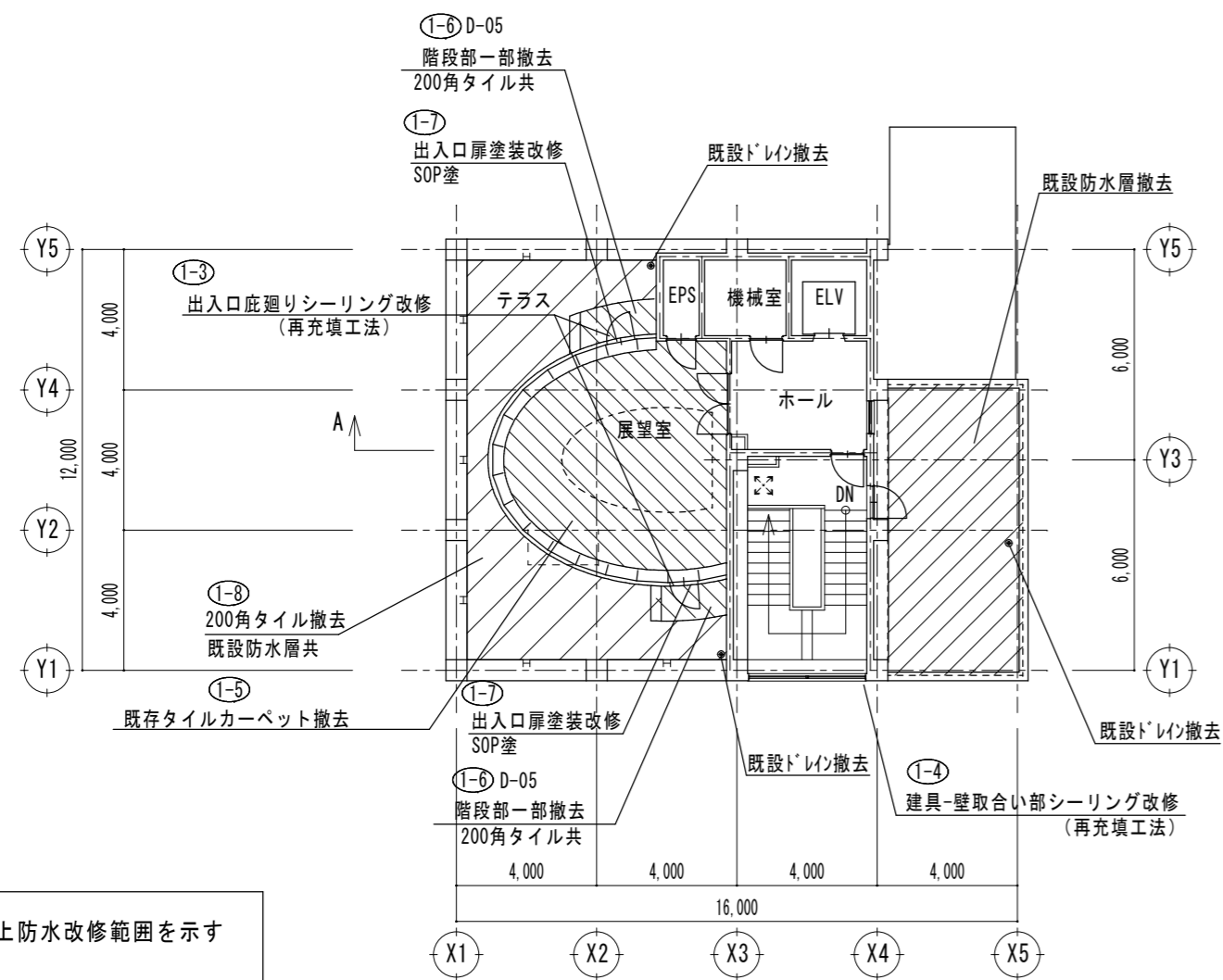
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃交流館屋上防水改修工事	NO.	
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/200			A-7
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計					
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				原図:A2		



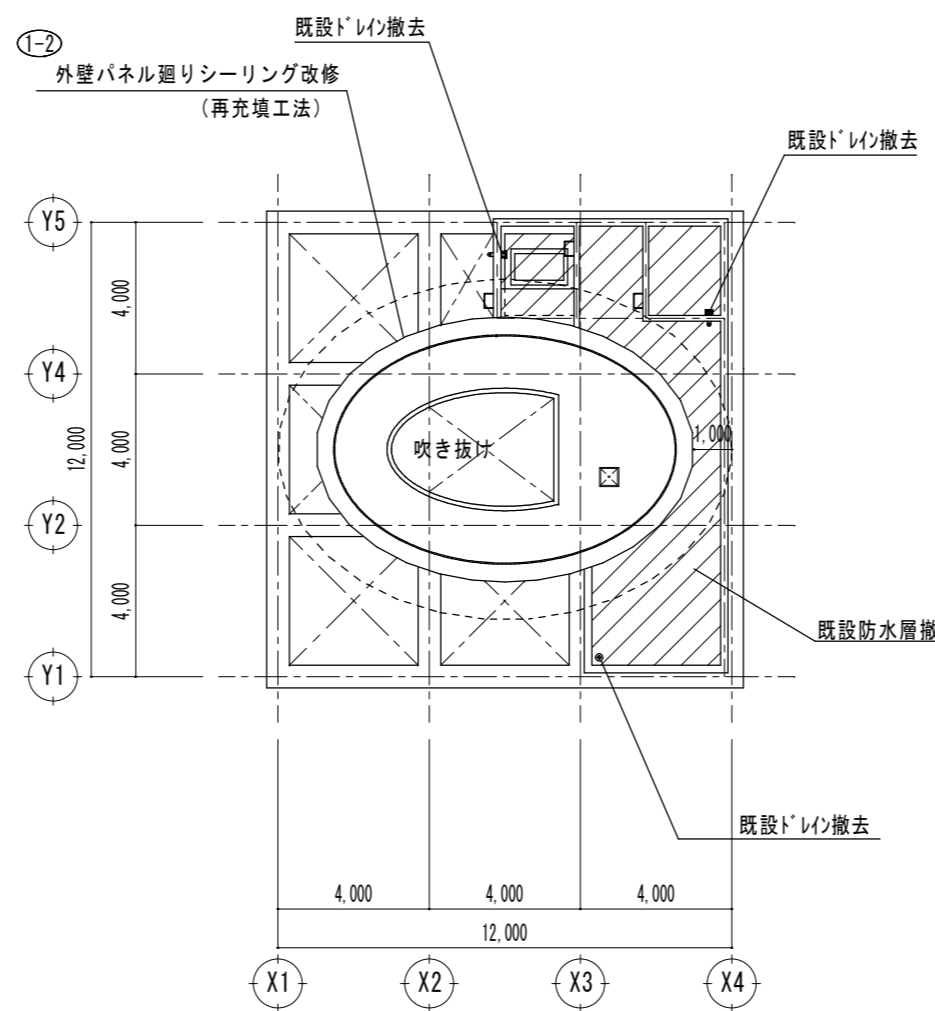
1階平面図 1/200



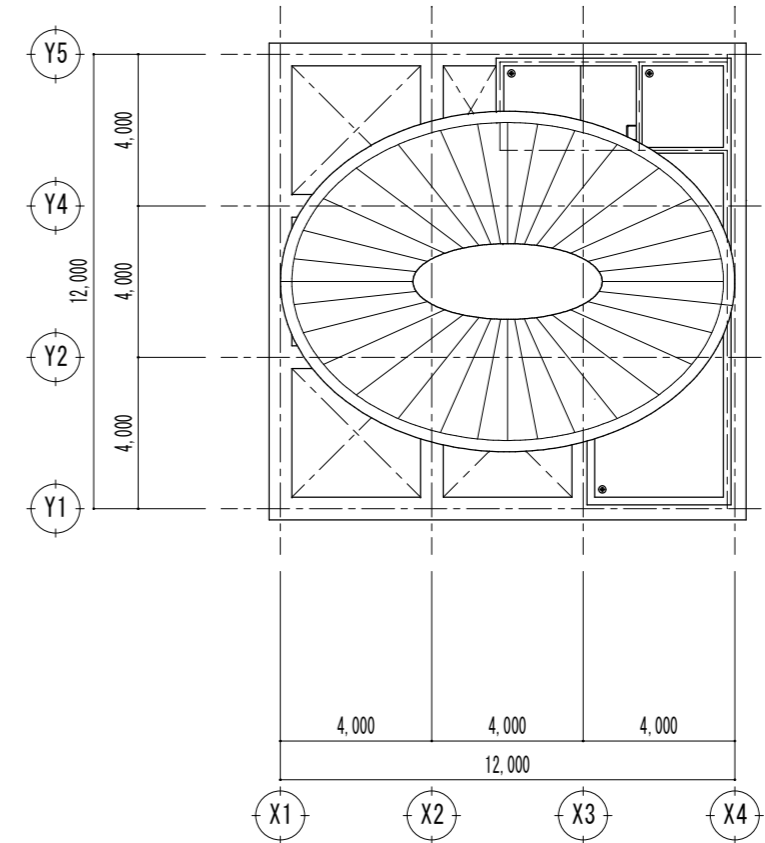
2階平面図 1/200



3階平面図 1/200



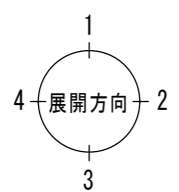
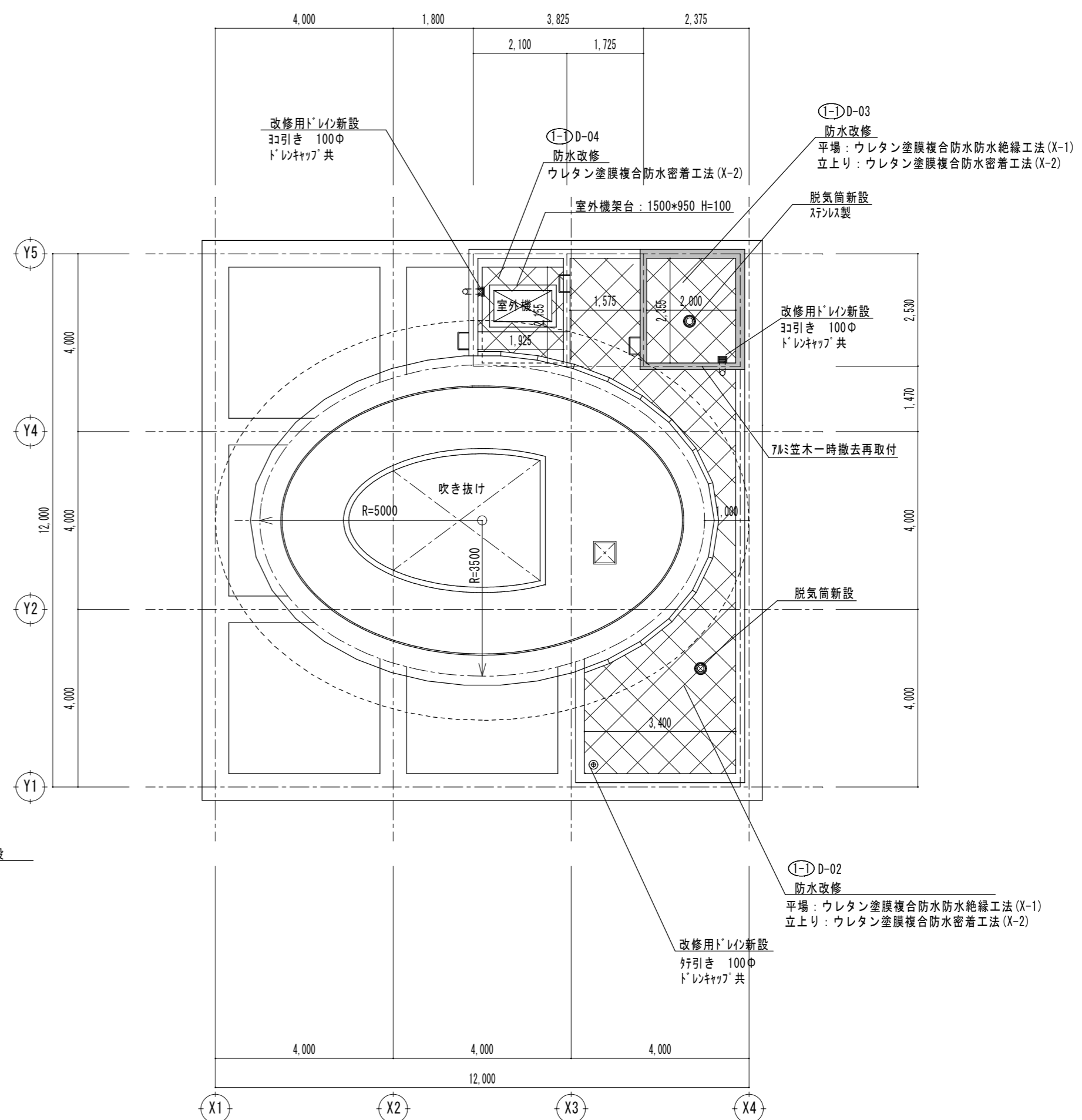
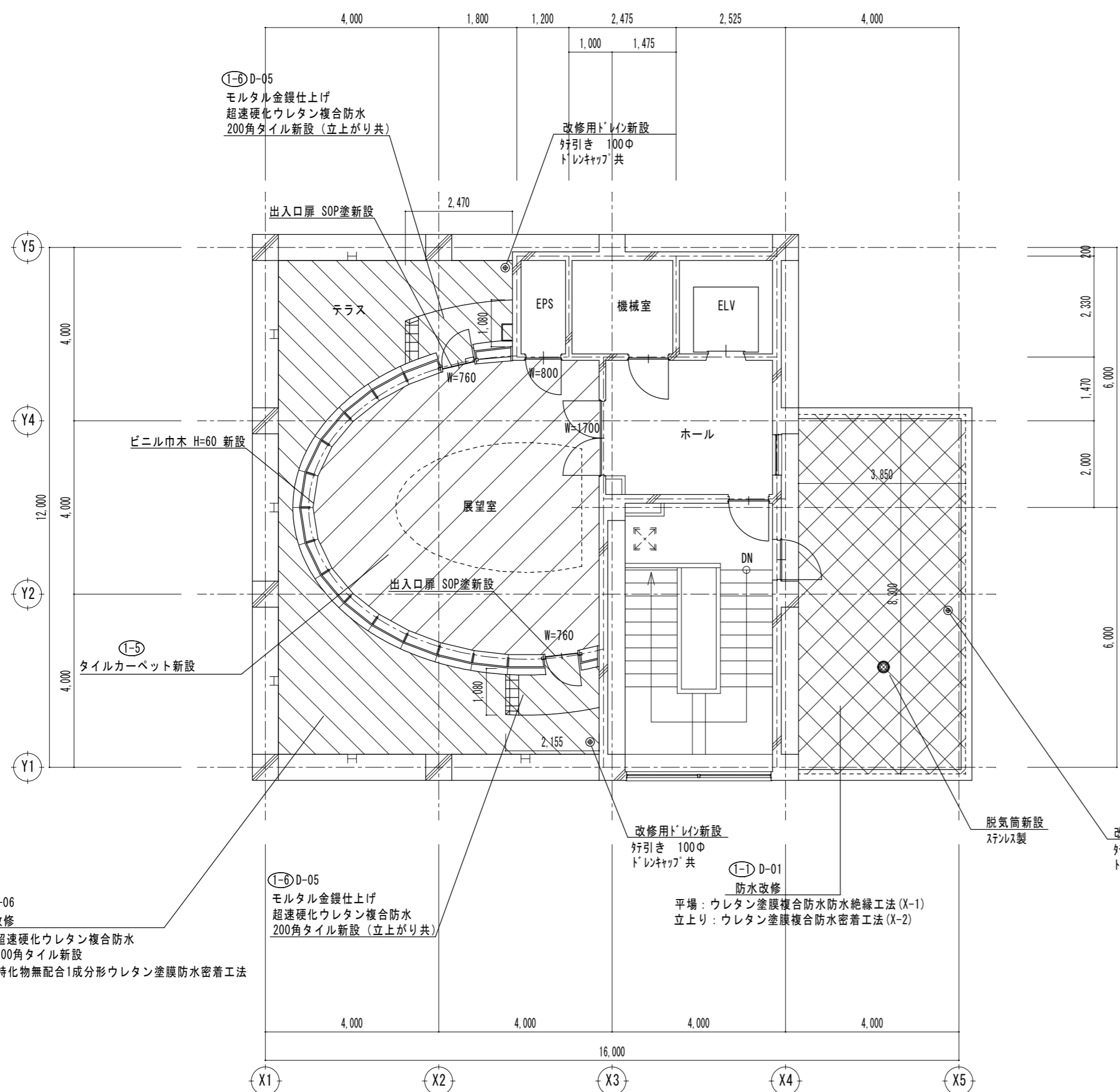
R1階平面図 1/200



R2階平面図 1/200

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃交流館屋上防水改修工事	NO. A-8
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/200		
			一級建築士事務所 一級建築士第248160号		設計				
			登録番号(1)第2118号 内田 貴之						
								1階 ~ R2階 平面図(改修前)	原図: A2

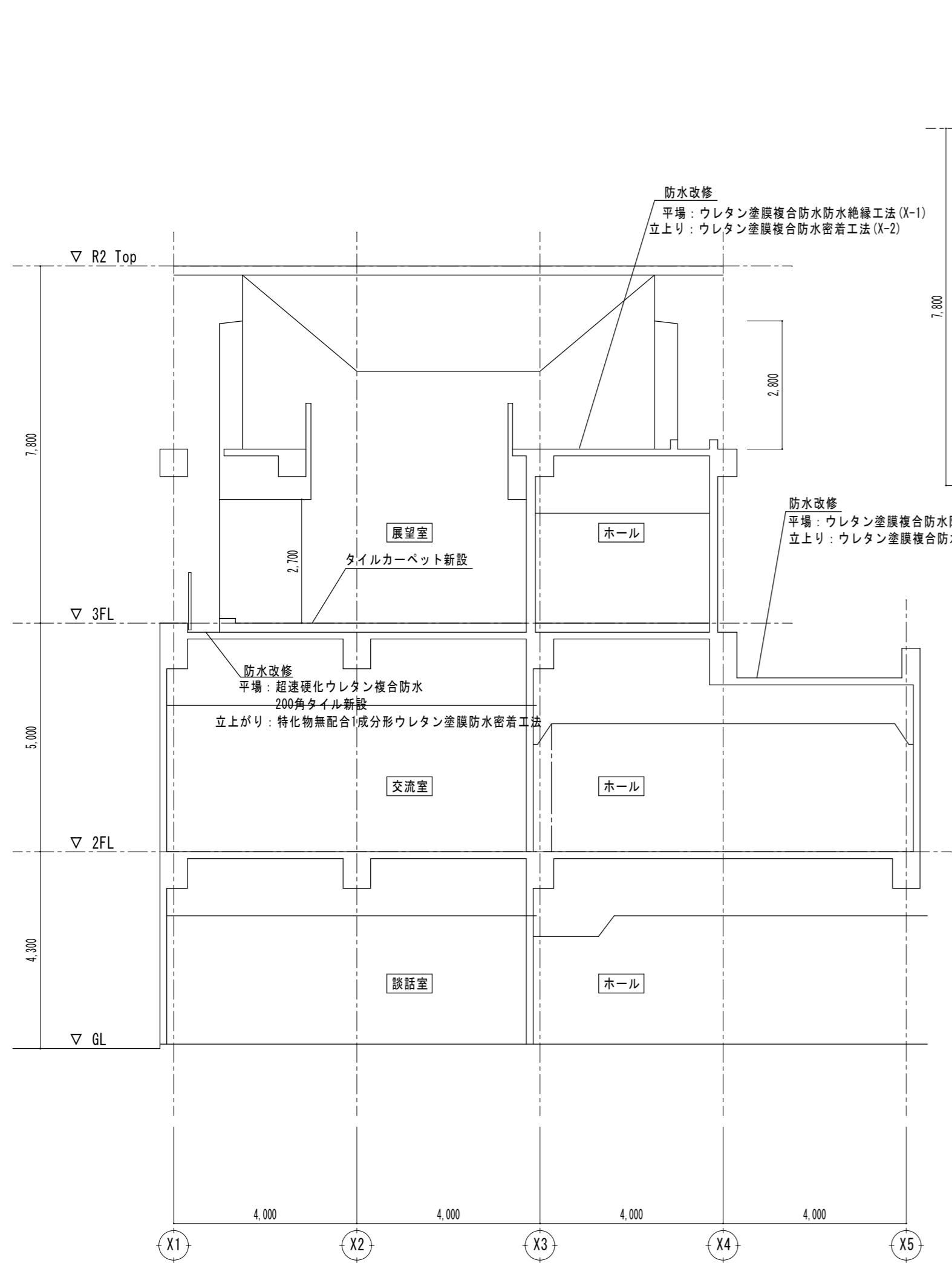




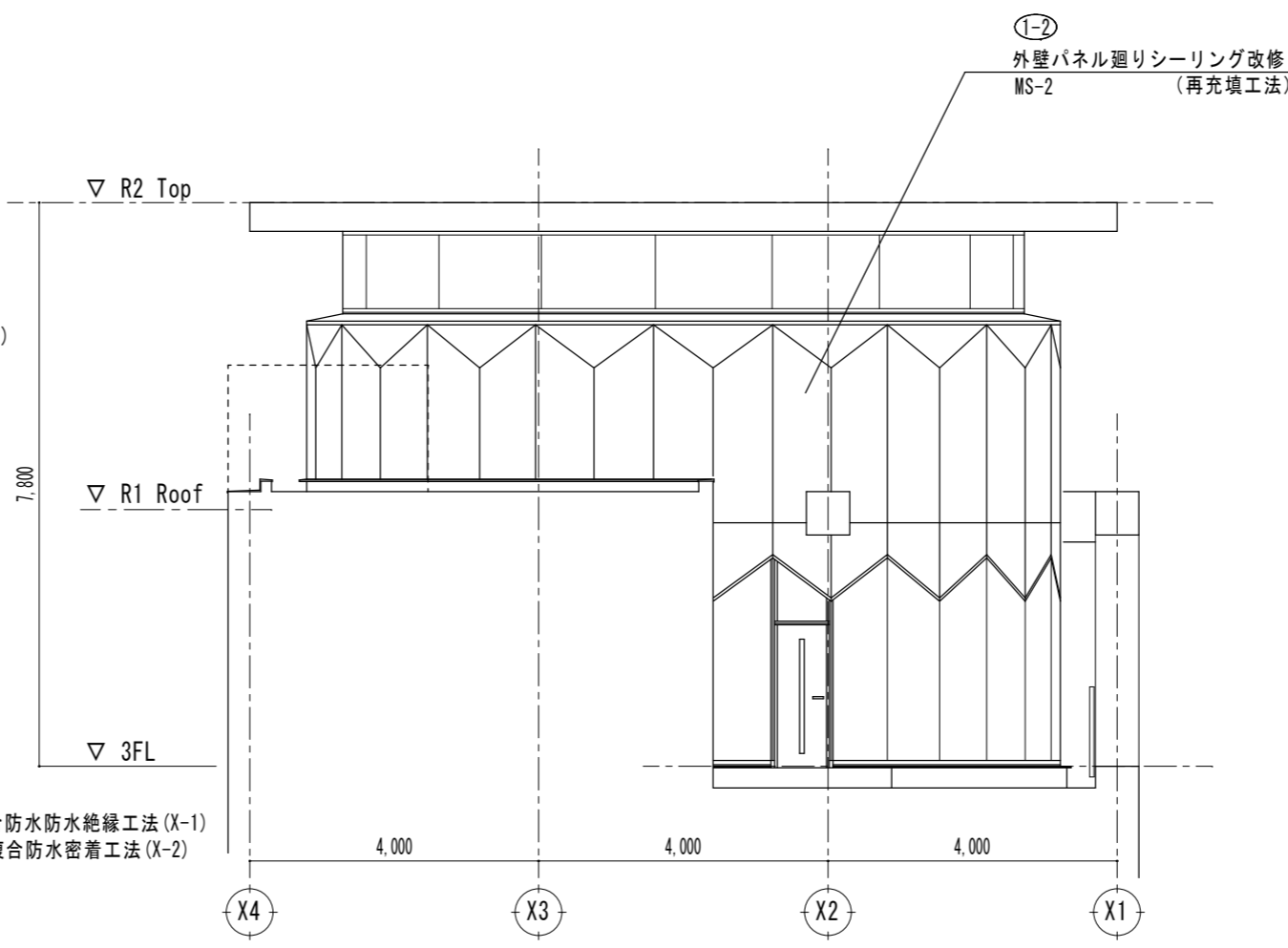
3階平面図 1/100

R1階平面図 1/100

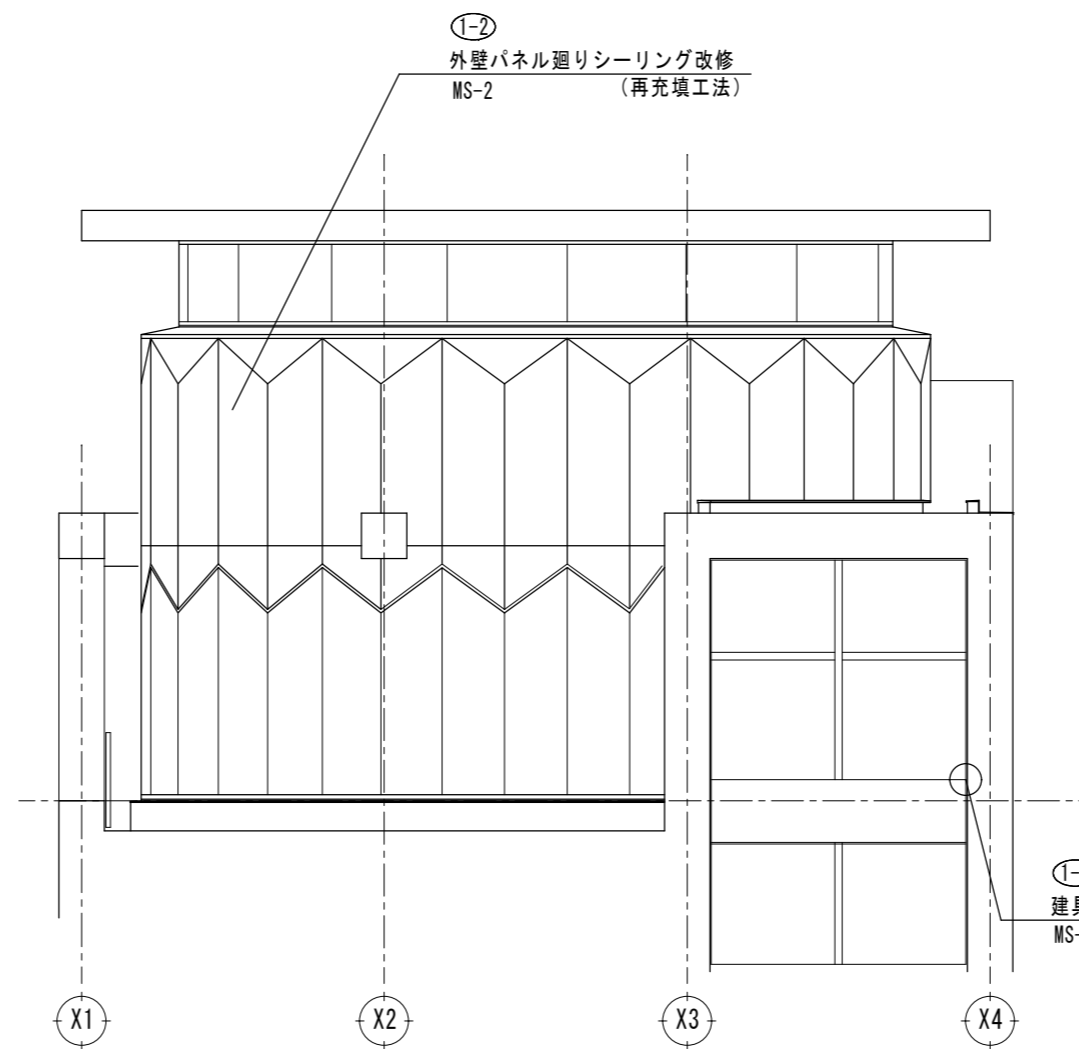
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃交流館屋上防水改修工事	NO. A-9
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/100		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					
								3階・R1階 平面図 (改修後)	原図: A2



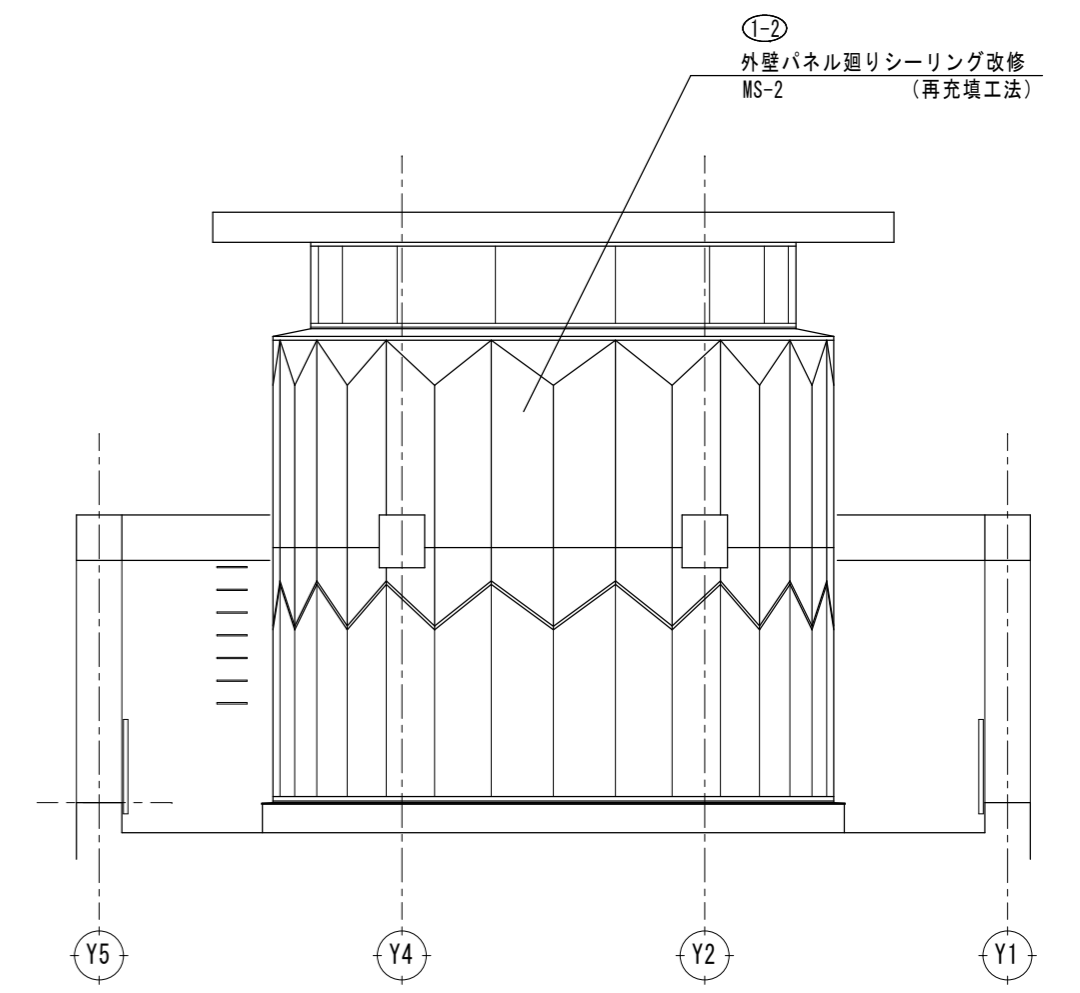
A 断面図 1/100



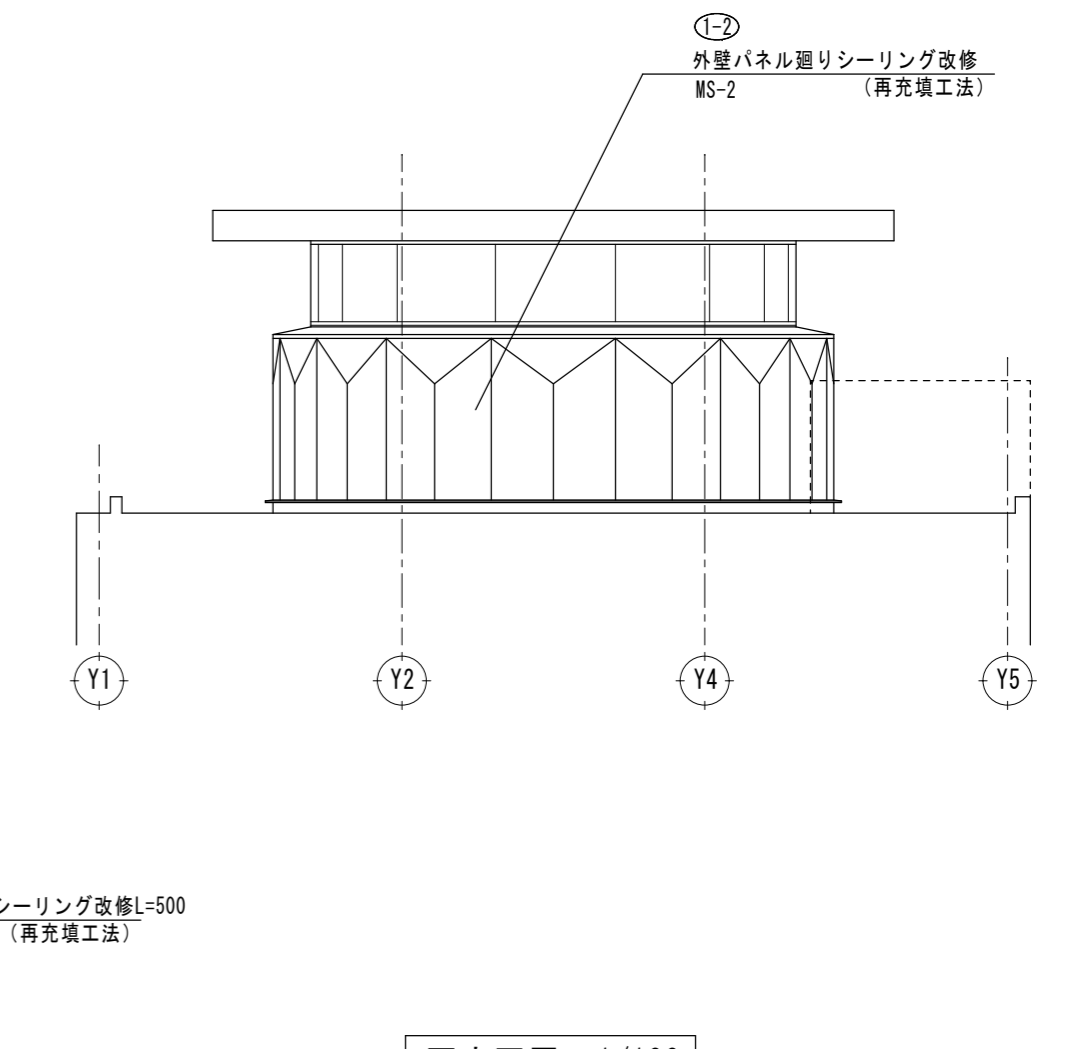
南立面図 1/100



北立面図 1/100

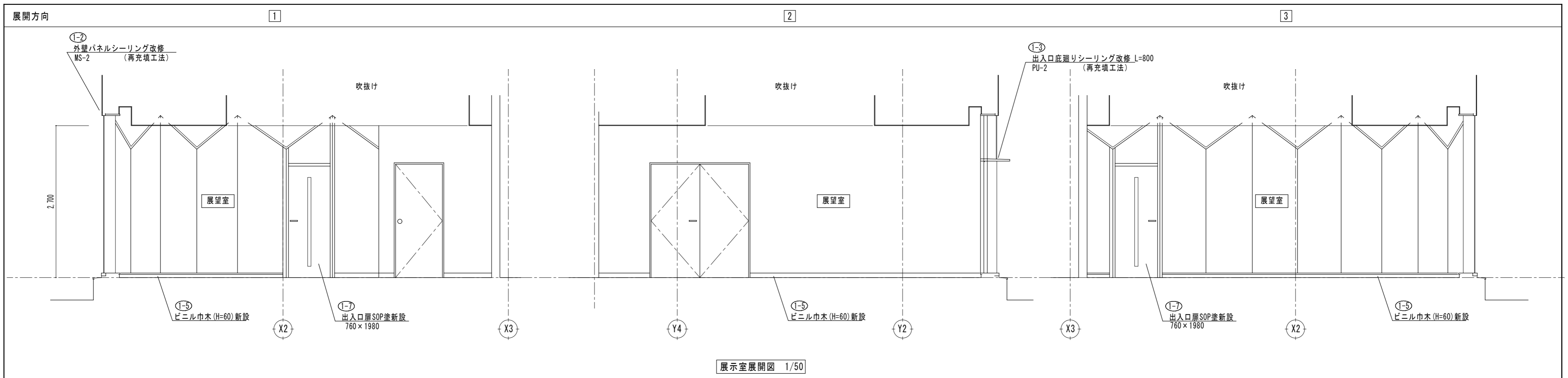


東立面図 1/100

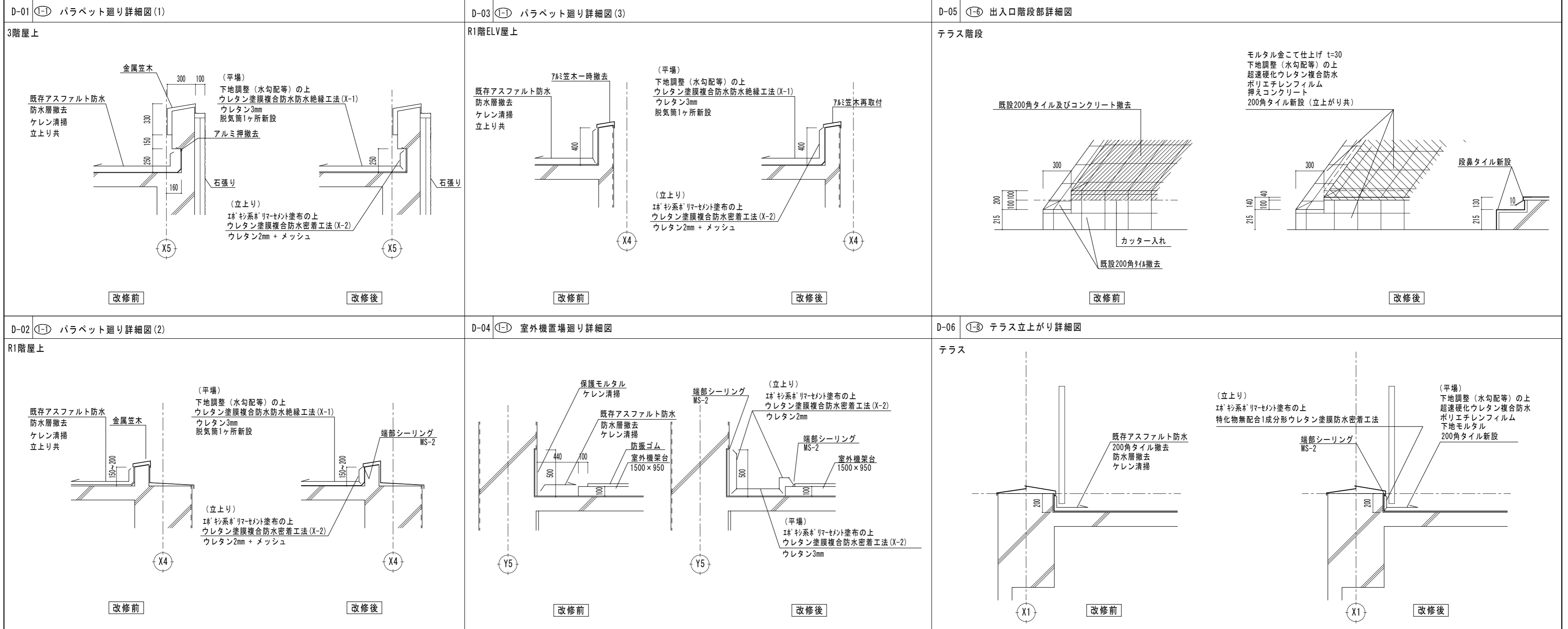


西立面図 1/100

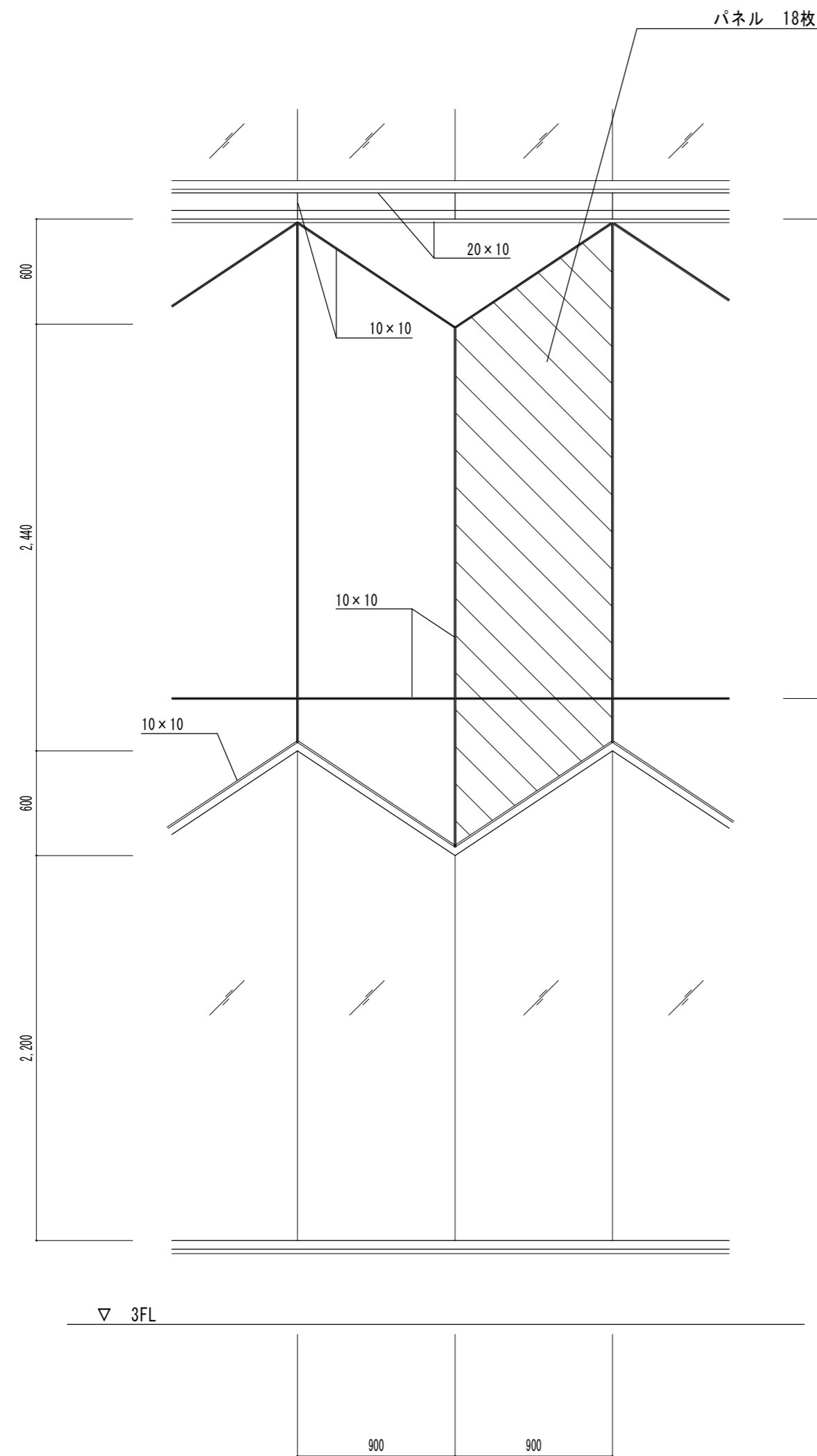
特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃交流館屋上防水改修工事	NO.
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/100		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					
								断面図・立面図	A-10
原図: A2									



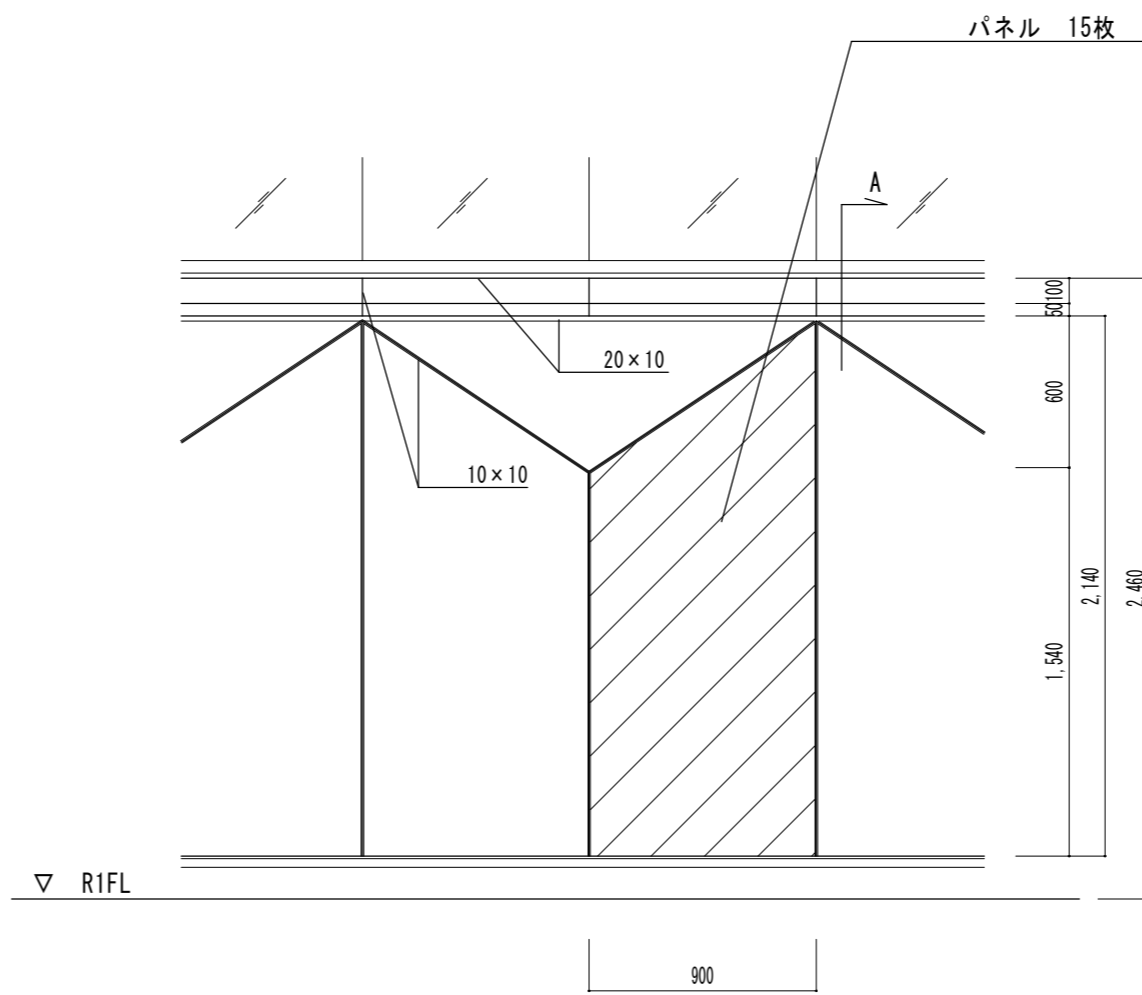
各部詳細図 1/30



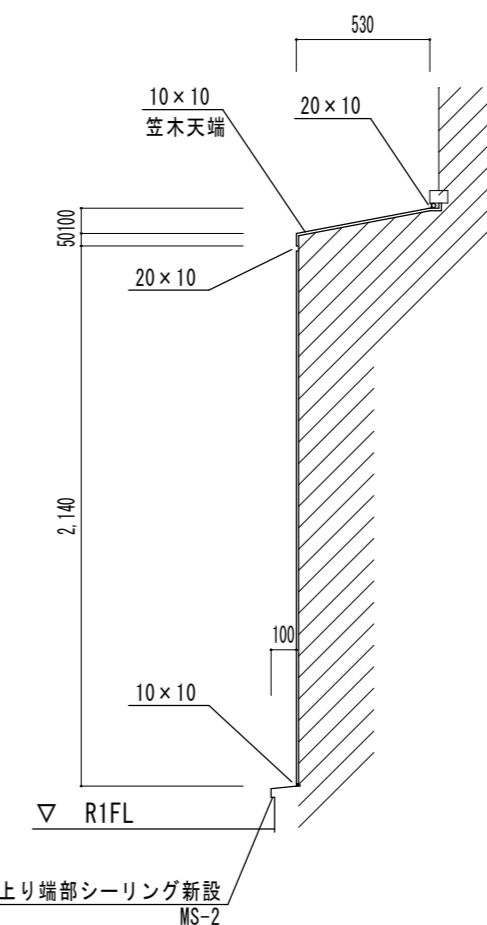
特記	月	日	U 建築設計			設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃交流館屋上防水改修工事	NO. A-11
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897					1/30		
			一級建築士事務所 一級建築士第248160号			設計		1/50		
			登録番号(1)第2118号 内田 貴之							
展開図・各部詳細図(1)										
原図: A2										



外壁パネル正面図(1) 1/30





外壁パネル正面図(2) 1/30



A部 断面図 1/30

①-②  
 ※ 外壁パネルシーリング再充填工法  
 (数字は目地大きさを示す)

 : 外壁パネル一枚の範囲を示す。

 : 外壁パネル一枚の範囲を示す。

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市サンヒルズ安濃交流館屋上防水改修工事	NO. A-12
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/30		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					
								各部詳細図(2)	原図:A2